

草の根 通信

VOLUME
112

Kusanone Tsushin

[2022年9月発行]



特集

日米草の根交流サミット2022 in小布施 文：日高健さん、遠山宏樹さん
日米草の根交流父島フォーラム

- ・第30回日米草の根交流サミット 2023オハイオ大会 開催日決定
- ・ジョン万次郎関連団体活動



彼女の名前はクロエ。

アジアの小さな町で暮らしています。

まだ誰にも言っていないけれど、

将来は、獣医さんになりたいそうです。

そんな女の子の毎日には、

私たちの仕事は役立っているだろうか。

三菱商事は、そんなことを考えます。

彼女の未来を考えることは、

この世界の未来を

考えることにつながっている。

そう思うのです。

仕事が広がるほど、複雑になるほど、

その先にある一人の幸せを想う。

私たちは、三菱商事です。

世界とひとりのために。

3年ぶりにいよいよ再開する日米草の根交流サミット。開催地として手を挙げてくださったのはサミットのキーパーソンとなる長野県小布施町の若き有志の2人。未だコロナ感染の不安が払拭されない中、いくつものハードルをクリアしながら開催へと導いていただきました。古くからの歴史に常に新しい風を取り込みながらも、独自の伝統や文化を残しつつ発展を続けている、とても素晴らしい町で、今年11月、日米の市民が友情を育みます。10月31日(月)にアメリカ人参加者たちは全米から羽田に集合し、翌日11月1日(火)から4日(金)までの3泊4日を小布施で過ごします。

その開催地小布施と小布施サミット実行委員会について、キーパーソンの日高さん、遠山さんにご紹介いただきました。



日高 健さん

遠山 宏樹さん

日米草の根交流サミット2022 in小布施

文：日高健さん、遠山宏樹さん



「小布施町」と聞いて、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか？「そもそも漢字の読み方が分からぬ…」という方もいらっしゃれば（「おぶせ」と読みます）、全国的に知られる「小布施栗」や、この町に滞在して数多くの作品を残した「葛飾北斎」を通してご存じの方もいらっしゃるかもしれません。



小布施栗

小布施町は長野県北部に位置する、人口約1.1万人、面積約19平方キロメートルの小さな町です。町の西部には、日本最長の川・信濃川に繋がる千曲川が流れ、妙高山、斑尾山といった北信五岳を望む扇状地に位置しています。果樹の生産が盛んで、特に秋には栗やぶどう、りんごを求めて多くの方が訪れます。



ほくしんごがく

小布施は、まちづくりの先進地としても知られています。1980年代には、町内の栗菓子店や住民が主体となり、歴史ある屋敷や蔵と、住宅や工場を調和するよう整備した「町並み修景事業」が行われ、町の中心部に趣のある空間が生まれました。また、2012年からは、全国から若者が集い、「教育」「メディア」といったテーマで町の未来を議論し事業構築する「小布施若者会議」が開催され、その取り組みは全国の様々な地域に広がってきました。2019年の台風19号災害で被災してからは、「環境防災先進都市」を目指す取り組みを本格化させ、ゴミや二酸化炭素排出量の削減などに力を入れています。



小布施町で実施に至った経緯

地方に位置する小さな町でありながら、江戸時代には葛飾北斎を招き入れ、現代でも全国から注目される取り組みを行ってきた小布施町。その原動力の一つには「交流」があります。江戸末期、葛飾北斎をもてなし、パトロンとして創作活動を支援したのは豪商の高井鴻山でした。町に暮らす人と遠方から訪れる人が出会い、力を合わせることで町の財産となる作品が生まれました。こういった原体験のもと、小布施町では様々な交流の取り組みを行ってきました。

2009年には、日本やアメリカの様々な地域から学生が集う「日米学生会議」の開催地の一つとなり、その参加者のうち一人は、小布施に住まいを移し、先述の「小布施若者会議」を立ち上げました。また2013年からは、日本の高校生を対象にリベラルアーツ教育を提供するサマースクール「HLAB」も開催され、今年10周年を迎えるました。

こうして日本や世界と積極的に交流する機会をつくってきた小布施町にて、この度ご縁をいただき「日米草の根サミット」を開催することとなりました。



大会に向けての準備の様子

秋真っ盛りな11月上旬。日本らしさ、そして信州小布施の素晴らしい自然を五感で味わっていただけるようなプログラムを実行委員一同で計画しております。

上記記載の小布施らしい町並みや表通りから一本入った路地などを参加者自らの足で巡るまち歩きを皮切りに、北斎館でのアートの鑑賞や江戸時代から続く味噌蔵、酒蔵での見学、また茶道体験など限られた時間の中で様々な要素を詰め込んだ4日間を



お届けする予定です。また、ホームステイプログラムでは、家庭毎のおもてなしを体感していただくことで思い出深い、かけがえのない時間を過ごすことができるでしょう。

兼ねてから「交流」を大切にしてきた小布施だからこそ、あたたかく濃密な時間をお届けいたします。



実行委員よりメッセージ

小布施サミット実行委員長 市村 良三さん

この度は(公財)国際草の根交流センター様の主催により「日米草の根交流サミット2022 in 小布施」日本側の開催地を東京都父島、そして私共、小布施町をお選び下さいまして誠に有難うございます。小布施町は田舎町で有りますので出来ることは限られておりますが、ご来町のアメリカの皆さんを心から歓迎申し上げます。

承りますれば、国際草の根交流センターさんに置かれましては30年以上に渡って、文字通り草の根交流として日米間の親善、友好に大きな功績を残されて来られた由、改めて深甚な敬意を申し上げます。

私共、小布施町も、国際交流も含めた交流を割合昔から進めて参りました。近年は平成の時代「花のまちづくり」の一環としてフランス、イタリアの市町村とお互いに訪問して学び合う交流を12~13年。ドイツとは「健康づくり」を目的として、ウォーキング、温泉の活用などをブンパルツ街道筋の市町村と10年程続き「まちづくり」に生かして参りました。

この所、10~12、3年は国と言うよりも国籍問わず「若い皆さん」をお招きする、と言う交流が増えております。きっかけは2009年の「日米学生会議」です。72名の日米学生が全員、ホームステイを含めた4日間の滞在。学生さん、各御家庭とも、大変有意義な時を過ごしました。そして「小布施若者会議」、高校生サマースクール「HLAB OBUSE」へと繋がって来ております。

今回、久しぶりにアメリカからの皆さんをお迎えして小布施町でどの様な交流が生まれるか。そして、どんな風に繋がり、花開いて下さるのか。今からとても楽しみさせて頂いております。

小布施サミット実行委員 土屋 美穂さん

「日米草の根交流サミットに向けて」

我が家ではホストファミリーとして学生さんの受け入れをしてきました。そんな我が家のことを探る仲間が、今回の小布施で開催されることになった「日米草の根交流サミット」の実行委員として誘ってくださいました。

私の家族は夫と子供が3人、犬のチャロと一軒家で毎日を平凡に過ごしています。小布施町は長野県で一番小さな町です。周辺地域への利便性の良さ、観光地としての歴史の深さ、豊かな土壌で田畠で実る野菜や果物が充実しています。我が家の中にも季節を楽しむ花や、自家製の野菜を育てる畑があります。

コロナという世界中の風の流れが止まっていたとき、やっと、この町に素敵な企画が動き出したことを知りワクワクが止まりません。皆さんと一緒に日本の土の温度や風の香り、文化の歴史と発展を少しの時間の中ですがご案内できることを楽しみにしています。



国際草の根交流サミット式典・コンベンション International Grassroots Summit Convention and Reception

日 時：2022年11月5日(土) 午後3時～6時半

場 所：ベイサイドホテル アジュール竹芝 14F 「天翔」

(ゆりかもめ「竹芝」駅より徒歩1分、JR/モノレール「浜松町」駅より徒歩7分、都営浅草線「大門」駅より徒歩8分)

主なプログラム：青木 弘氏（戦場フォトグラファー）による講演

ジョン万次郎・メモリアル・オーケストラメンバーによる弦楽四重奏演奏

主な参加者：中濱京氏、スコット・ホイットフィールド氏、マシュー・ペリー氏、他

会 費：お一人様 7,500円

定 員：120名(サミット・フォーラム参加者優先、先着順)

3年ぶりに開催する日米草の根交流サミットでの日米市民との交流を祝いつつ、グローバル社会の平和について考えるコンベンションを開催します。

参加ご希望の方は下記フォームまたはメールにてお申し込みください。

申し込みフォーム：<https://forms.gle/xjVry4L1k8iWtduM6>

メール：manjiro@manjiro.or.jp

SAVE the Day!!

2023年
9月19日(火)~
25日(月)

第30回米草の根交流サミット 2023 オハイオ大会 開催日決定

来年、オハイオ州の州都コロンバスを中心とした地域で開催されるオハイオ大会の日程が決定しました！

アメリカのほぼ中央に位置し、この地に拠点を置く、多くの企業を擁し、物流のハブとしての重要な役割を持つ都市ですが、実は、旅行情報誌で詳細を見つけることが大変難しい地域です。百聞は一見にしかず。ぜひオハイオについての自分だけの魅力を見つけにいきましょう。



日米草根交流父島フォーラム

今回の特別企画である父島フォーラムは、ペリー提督が父島の最初の入植者ナサニエル・セーボレーに送った31星の星条旗にまつわる新聞記事から始まった交流をたどろうとしたことが発端です。東京から南1000キロの太平洋上に浮かぶ小笠原諸島は、2011年に世界自然遺産として登録され、日本人でも「一生に一度訪れたい島」ランキング（2022年阪急交通社）で、屋久島に次ぐ第2に選ばれていますが、小笠原諸島・父島とはどんなところなのでしょうか。歴史を含み、万次郎・ホイットフィールド船長・ペリー提督と大きく関わりのあるこの地域を簡単に紹介します。

小笠原諸島小史

提供：中浜万次郎国際協会 元事務局長 幅 泰治氏

※①～⑤の表記は万次郎が父島を訪れた時期と回数

- 1593(文禄2)年 信州深志の小笠原貞頼がこの無人島を発見したと伝えられる。
- 1670(寛文10)年 紀州の蜜柑を積んだ船が漂着し下田に帰還、その存在を幕府に報告している。これをもとに、
- 1675(延宝3)年 長崎の末次茂朝、嶋谷市左衛門を派遣、「此島大日本之内也」という碑を設置、依頼「無人島（ブニンジマ）」と呼ばれた。その後、内外の調査・探検の報告があるが、
- 1785(天明5)年 林子平の『三国通覧図説』には「小笠原島」という名称が現れる。
- 1810(文化7)年 天文方・高橋景保は『新訂万国全図』に「無人島」と上刻している。
- 1827(文政10)年 19世紀に入ると欧米の多くの捕鯨船が寄港するようになり存在が伝わっていく。太平洋で嵐に遭ったときに立ち寄る最適な港であった。
- 1830(文政13)年 イギリス軍艦ブロッサム号が父島に来航、艦長ピーターは新島発見と思い、父島をピール島、母島をペイリー島と命名して、その標識を木に打ち付けて来ている。
- 1841(天保12)年 ナサニエル・セボリーらがハワイから現地人を連れて父島に入植し、寄港する捕鯨船などと商売をする。
- 『ライマン・ホームズの航海日誌』によると 1842年5月27日 小笠原に立ち寄っている。^①
- 1845(弘化2)年 マンハッタン号は父島に寄港した後、鳥島と近海で漂流民を救助し、浦賀に届けるが幕府は受け取っている。
- 1847(弘化4)年 ジョン・マンの乗ったフランクリンが寄港^②
- 1853(嘉永6)年 アメリカのペリー艦隊が日本に行く途中、沖縄からサスケハナ号とサラトガ号が小笠原に寄港し、島民のために牛、羊、山羊や野菜の種子を与え、石炭を置く土地をセボリーから購入している。
- また「植民地規約」を制定し自治を促している。これに基づき、セボリーが首長になる。その帰りにもブリマス号を立ち寄らせている。一方、ロシアのプチャーチンもパルラダ号で寄港し長崎に向かっている。
- 1854(安政1)年 再来したペリーは幕府と「日米和親条約」を結び、帰りにはマセドニアン号を父島に寄港させている。
- 1860(万延1)年 これらの動向を得て、幕府は小笠原諸島の調査方針を立てる。「日米修好通商条約」の批准のために使節と共に、咸臨丸もアメリカに向かう。桜田門外の変で井伊直弼暗殺される。
- 1861(文久1)年 幕府は外国奉行水野忠徳に小笠原諸島の再開拓を命ずる。アメリカから帰った「咸臨丸」を派遣し、小野友五郎を艦長に、田辺太一、小花作之助、中浜万次郎など100余名を乗せて父島に入港する。水野忠徳、服部昇一らは、小笠原諸島が日本の属島であることを明らかにし、外国人先住者を保護することを伝達し、同意を得る。^④
- 1862(文久2)年 水野忠徳などは帰府して幕府に報告し、各国に領有権を通告する。小花作之助らは現地に止まり、開拓のほか、漂流者たちの靈を慰め「冥福」の碑を建てている。幕府の移民政策により朝暉丸が八丈島の住民38名を入植させるが、生麦事件や長州藩外国船砲撃など諸藩の情勢から翌年すべてを引き上げさせる。
- 1863(文久3)年 中浜万次郎が一番丸で小笠原に寄港し、近海で洋式捕鯨をする。この時、ホートン事件が起きる。^{(1859、一番丸で③)⑤}
- 1868(明治1)年 大政奉還、王政復古、明治維新。
- 1873(明治6)年 藤川三溪が小笠原諸島の開拓と捕鯨業の建白書を提出。米公使は小笠原諸島の領有権を主張しない旨を日本政府に伝える。

1875(明治8)年	明治丸で田辺太一、小花作之助らを小笠原に向かわせる。この時、日本政府が直轄を決め、駐在公使に領有を通告している。	
1876(明治9)年	日本政府は小笠原諸島の開拓に着手し出張所を建設、内務省の管轄となる。日本統治を各国に通告、日本領有が確定。	
1877(明治10)年	庁舎を移設、「開拓小笠原島碑」を建立。	
1880(明治13)年	東京府管轄となる。	
1882(明治15)年	欧米系住民の全てが日本に帰化。その後、製塩業などが始まる。	
1894(明治27)年	日清戦争。	
1904(明治37)年	日露戦争。	
1914(大正3)年	第一次世界大戦。	
1927(昭和2)年	天皇が小笠原諸島に行幸。	
1941(昭和16)年	太平洋戦争が勃発し、日本の南進政策への物資輸送の拠点、要塞となり、空襲を受ける。	
1944(昭和19)年	島民 6800 余人を本土に強制疎開。	
1945(昭和20)年	硫黄島の玉碎。ポツダム宣言受諾、終戦。アメリカに接収され、施政権下に置かれる。	
1951(昭和26)年	サンフランシスコ平和条約。	
1968(昭和43)年	小笠原諸島は日本に返還され、小笠原村設置。	
1994(平成6)年	平成天皇・皇后が行幸啓。	
2011(平成23)年	ユネスコ世界自然遺産となる。	
2018(平成30)年	小笠原諸島返還 50 周年記念。	

小笠原諸島の英語名：「ボニンアイランド」の由来

小笠原諸島は欧米の捕鯨船団に人気の海域であったため、英語名が付けられていますが、無人島だったため「ぶにんのしま」と呼ばれていたことから、ぶにん→Bunin→Bonin となったと言われています。無人島だったのにも関わらず、その呼称が欧米人たちにどのように知られていったのか疑問は残ります。また、小笠原海域の真っ青なブルーは「ボニンブルー」と呼ばれています。



日本の面積、世界6位は万次郎の功績？！

1861年に通訳として随行した万次郎と水野忠徳らが、父島到着後速やかに日本の領有権を受け入れられ、島民の日本国民となる同意を得ることができたのは、幾度に渡る万次郎の父島寄港によってセーボレー首長との信頼関係が築かれていたからか？！

日本の国土面積は、約38万km²で世界第61位に過ぎませんが、排他的経済水域(EEZ)^{*1}と領海を合わせた面積は約447万 km²で世界第6位^{*2}です。海岸線の長さも約3万5,600kmで世界第6位です。また、日本には比較的規模が大きな離島だけでも約6,850の島があり、日本は世界有数の多島国です。

*1 排他的経済水域 (Exclusive Economic Zone) とは、国連海洋法条約に定められた領海の基線から200海里（1海里は1,852m）を超えない範囲で設定される水域で、その沿岸国は、EEZの天然資源の探査や、開発、保全及び管理に関する権利や人工島、施設及び構築物の設置及び利用、海洋環境の保護及び保全、海洋の科学的調査等に関する管轄権を持っています。

*2 海外領土を除く。海外領土を含める場合は、世界第8位。

内閣府 海洋の働きより抜粋

https://www8.cao.go.jp/ocean/info/youth_plan/pdf/uminomirai_3.pdf

ジョン万関連団体活動のお知らせ

土佐ジョン万会主催 第13回ジョンマン英語弁論大会

2年ぶりの開催無事終了

特別賞受賞者へ「父島フォーラム」を副賞として授与

8月27日(土)、高知市の高知城のお膝元にある高知県人権会館で2年ぶりに開催され、全国から選ばれた中学生6名、高校生6名の計12名が集まり、ジョン万次郎の挑戦から何を学び、どのように自分達の人生に生かしていくかという内容を英語で表現し、発表しました。12名の中から3名が父島フォーラム参加権を得る特別賞を受賞し、11月5日の国際草の根交流サミット式典・コンベンションから父島フォーラムへ参加します。

協力：土佐ジョン万会、NPO 法人中浜万次郎国際協会

中浜万次郎国際協会主催 万次郎忌

日 時 令和4年11月5日(土) 午前11時より

※東京メトロ有楽町線東池袋駅に10時40分までお集まり下さい。墓所までご案内します。また、墓所に直接おいでになることも可能です。
※15時からのサミット式典・コンベンションに続きます。

場 所 雜司ヶ谷靈園 中濱家の墓所

問い合わせ・申込 NPO 法人中浜万次郎国際協会 manjiro.info@gmail.com

Japanese Hospitality Wherever You Fly



Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER



www.fly-ana.com

寄附協賛企業一覧 (五十音順) List of Corporate sponsors of CIE Japan



株式会社アイシン
AISIN CORPORATION



愛知製鋼株式会社
AICHI STEEL CORPORATION



株式会社ECC
ECC Co., Ltd.



株式会社ジェイテクト
JTEKT CORPORATION



全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.



ダイキン工業株式会社
Daikin Industries, Ltd.



株式会社デンソー
DENSO CORPORATION



株式会社ドトールコーヒー
Doutor Coffee Co., Ltd.



豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.



トヨタ自動車株式会社
TOYOTA MOTOR CORPORATION



トヨタ自動車九州株式会社
TOYOTA MOTOR KYUSHU, INC.



株式会社豊田自動織機
Toyota Industries Corporation



豊田通商株式会社
Toyota Tsusho Corporation



トヨタファイナンシャル
サービス株式会社
TOYOTA FINANCIAL SERVICES
CORPORATION



トヨタ紡織株式会社
TOYOTA BOSHOKU
CORPORATION



株式会社ニフコ
Nifco Inc.



日野自動車株式会社
Hino Motors, Ltd.



深田電機株式会社
FUKADA DENKI



富士通株式会社
Fujitsu Limited



プラザー工業株式会社
BROTHER INDUSTRIES, LTD.



三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社
Mitsui Sumitomo Insurance
Company, Limited



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
Sumitomo Mitsui Banking
Corporation



三菱商事
Mitsubishi Corporation



明治安田生命
Meiji Yasuda Life Insurance Co.



公益財団法人森村豊明会
MORIMURA HOUMEIKAI
FOUNDATION

東京海上日動火災保険株式会社／パナソニック株式会社／矢崎総業株式会社

Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd. / Panasonic Corporation / Yazaki Corporation

法人賛助会員一覧 Corporate member

明治安田生命保険相互会社
Meiji Yasuda Life Insurance Co.

 公益財団法人ジョン万次郎ホワイトフィールド記念
国際草の根交流センター
John Manjiro Whitfield Commemorative
Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアクス麹町 602
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimach, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175
Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : http://www.manjiro.or.jp